



NPO 法人

ひろしま人と樹の会

会報 No. 279

□理事長 荒川 純太郎

□事務局 〒733 - 0852 広島市西区鈴が峰町 16 - 20 (中元明弘)

Tel&fax 082 - 277 - 9490 E-mail: hirosimaitotokinokai@yahoo.co.jp

□年会費 2,000 円 郵便振替 01360-4-29388 「ひろしま人と樹の会」

□編集責任者 古川ちひろ

本号の内容

<セミナーのご案内>

1. 第 239 回現場セミナー
ひろしま「山の日」県民の集い案内
(6/3 : 日)
廿日市会場「広島県立もみのき森林公園」
2. 平成 30 年度通常総会の開催案内
(6/2 : 土)
広島市まちづくり市民交流プラザ
3. 番外編セミナー 比治山公園の手入れ
(6/9 : 土)
広島市南区 比治山公園

<セミナー等の報告>

1. 番外編現場セミナー 緑の街頭募金への参画
(4/15 : 日)
広島市中区そごう前・福屋前
2. 番外編現場セミナー 屋敷林整備
(4/19 : 木)
三次市三良坂町三良坂黒田 (松島家)
3. 番外編現場セミナー
キャンプ場周辺の森林整備
(4/21・22 : 土・日)
北広島町(旧芸北町)土橋
4. 番外編現場セミナー
「第 22 回みどりの集い」に参画して
(4/29 : 日)
広島市東区福田町 広島県緑化センター

<事務局からのお知らせ>

◆セミナーのご案内◆

1. 第 239 回現場セミナー ひろしま「山の日」県民の集い案内 (6 / 3 : 日) 廿日市会場「広島県立もみのき森林公園」

17 回目のひろしま「山の日」県民の集いが広島県内 15 会場で開催されます。

廿日市会場では、山の手入れや薪割り体験に修道大学生など約 150 名の参加が見込まれています。

ついでに、廿日市会場の山の日実行委員会からイベントの安全を図る指導者の要請がありました。

当会が日ごろ培っている、山の手入れや薪割り体験などの指導力を発揮する絶好の機会であるので下記の通りお手伝いをする事としました。是非、指導者(一般参加も可能)として参加をお願いします。

1 日時

6 月 3 日(日) 10 ~ 15 時(集合 8 時 30 分)

2 場所

廿日市市吉和「広島県立もみのき森林公園」

3 作業内容

山の手入れ、薪割り体験指導

修道大学生 150 名を対象に班長、副班長として作業範囲の確認、ノコなどの道具確認など安全作業を徹底指導する。また、一般参加者として参加もお待ちしています。

4 持参品

作業のできる服装、ヘルメット、ナタ、

ノコ、タオル、飲み物など

5 参加費

無料

6 申込先

事務局 (中元) TEL&FAX 082-277-9490

班編成の準備があります。

参加申込は 5 月 25 日までをお願いします。

2. 平成 30 年度通常総会の開催案内 (6/2:土) 広島市中区袋町 広島市まちづくり市民交流プラザ

平成 30 年度通常総会を、次のとおり開催します。ご出席をお願いいたします。

各 位

特定非営利活動法人ひろしま人と樹の会
理 事 長 荒 川 純 太 郎

平成 30 年度通常総会の開催案内

陽春の候、会員の皆様方には、ご清祥のことと御慶び申し上げます。

さて、平成 30 年度通常総会を定款第 23 条第 1 項により次の通り開催します。

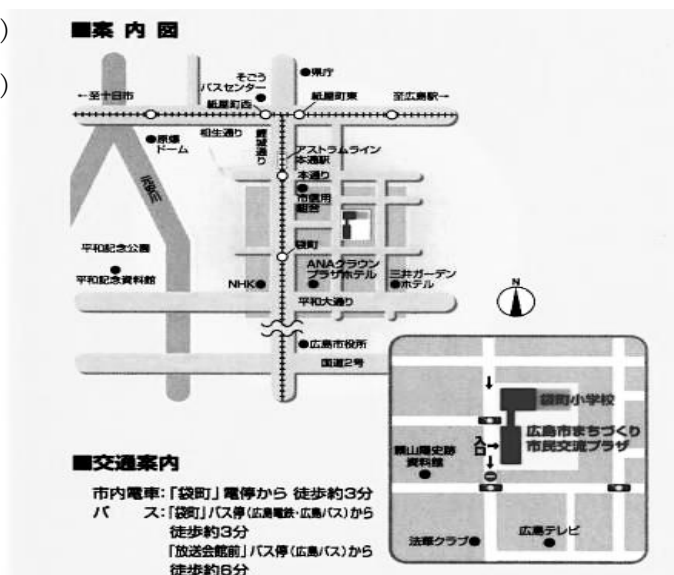
ご出席くださいますよう御案内申し上げます。

なお、同封のハガキにより 5 月 16 日までに出席等をご連絡してください。

※定款は、会報 224 号に掲載していますので参考にしてください。

- 1 日時：平成 30 年 6 月 2 日(土) 15:30~17:00
- 2 場所：広島市中区袋町 6-36 TEL 082-545-3911(代表)
広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟 5 階 「研修室 B」
- 3 総会次第
 - (1) 開会
 - (2) 理事長あいさつ
 - (3) 議事
 - ① 第 1 号議案 平成 29 年度活動報告
 - ② 第 2 号議案 平成 29 年度決算報告

- ③ 第 3 号議案 平成 30 年度事業計画(案)
- ④ 第 4 号議案 平成 30 年度収支予算(案)
- ⑤ 第 5 号議案 役員の改選
- (4) その他
- (5) 閉会



3. 番外編セミナー 比治山公園の手入れ (6/9:土) 広島市南区 比治山公園

広島市内の子育て中の親たちが、広島市南区の比治山公園でごみの清掃や雑木の整備に取り組んでいる「比治山の森を守り育てる会」との共催活動です。昨年 8 月から月に 1 回集まり、枯れ枝や不要に増えている竹林の伐採に汗を流している会が、手ノコでは伐倒の困難な、木の伐採をお手伝いする活動です。チェーンソーを使用しての伐倒です。公園の中での活動なので危険回避のため、伐倒にはランク 3 以上の資格者が行います。伐倒木の処理などもありますのでご協力よろしくお願いします。

1 日時

6 月 9 日 (土) 9 時 30 分～15 時

2 活動場所

広島市南区 比治山公園

3 集合場所

広島市南区 比治山公園駐車場
(広島市現代美術館下の路上駐車場)

4 持参物

長袖作業服、帽子、手袋、タオル、弁当、ヘルメット、チェーンソー、チャプス等

5 申込

6 月 6 日 (水) まで事務局まで

NPO 法人ひろしま人と樹の会事務局「比治山公園伐採」

氏名 (年齢)	住 所	連絡先	備考
()			
()			
()			

◆セミナー等の報告◆

1. 番外編現場セミナー 緑の街頭募金への参画

(4/15:日)

広島市中区 そごう前・福屋前

(公社) 広島県みどり推進機構では、学校募金、家庭募金、企業募金、街頭募金など緑の募金を行い、みどりづくり活動支援(森林整備や環境緑化など森林づくり事業を行なう森林ボランティア団体等の支援)、緑の少年団へ活動費の支援、植樹祭等の開催(【ひろしま「山の日」県民の集いなどの開催】)を実施しています。

例年4月に広島市内で広島市の緑の少年団、ボランティア団体が一緒に街頭募金を行なって

おり、当会も参画した。〔当会参加者4人〕12時30分から13時に県庁会議室で打合せの後、2班に分かれそごう前と福屋前に移動、14時まで募金活動、少年団の元気な声かけ「緑の募金をお願いします。」「ありがとうございました!」と連呼の1時間でした。

募金額は22,397円でした。多くの方々の温かみを感じた貴重な体験でした。

(報告者: 櫻井充弘)

2. 番外編現場セミナー 屋敷林整備

(4/19:木)

三次市三良坂町三良坂黒田(松島家)

1回目平成29年12月2日、2回目12月9日で、今回で3回目の三良坂町(松島家)の屋敷林整備です。

晴天に恵まれた作業日よりでした。参加者は会員6名(沖田、中元夫妻、圓光、櫻井、畝本)、中元奥さんの地元同級生平岡夫妻、中元さん義子息の計9人。昨年6月頃から空き家になり雑草とともに樹木も繁茂しているため、想い出のある木や珍しい木、貴重な木は残して他は全部、伐採したいということでした。築250年の母屋の周りには、何年も掛けて多種多様な樹木が植えられています。

代表的な樹木は約150年生(12月2日伐倒、年輪を確認)のコウヨウザンで、正に松島家の歴史が感じられます。広島県林業技術センターで

は、このコウヨウザンを将来の有用樹種として「早生樹種コウヨウザンの効率的な増殖・育成・利用方法」を研究課題として取り組んでいます。コウヨウザンの特徴として①成長が早い②材の強度が高い③萌芽更新(伐り株から株立ちして成長)する。コウヨウザンは台湾から江戸後期(約150年前)に日本に持ち込められたもので、当センターの涌嶋次長によれば庄原市にコウヨウザンの造林地があり約60年前に植林されたもので、ここの150年生コウヨウザンは珍しいとのこと。 (残念ながら涌嶋次長が調査に来られた時「4月19日」には伐採後でした。) 丸太は調査研究のため林業技術センターに持ち帰りました。

3回目の作業でも残っている樹木は沢山あり、

太い柿の木、松、竹などを中心に伐採整理しました。伐採した幹・枝葉の処分が大変で、丸太は平岡さんの薪ストーブ用、枝葉は田んぼで焼却しました。野焼きは原則禁止ですが、事前に最寄りの消防署に届けて焼却しましたが、何分にも多量なので焼却をメインに4月19日、5

月2日の2回、中元夫妻、畝本の3人で処分しました。

昼食は恒例の豚汁、おまけに焼肉も美味しく頂きました。今回も松島家（中元）から多額な寄付金を頂きました。厚く御礼申し上げます。

（報告者：畝本暢宏）



【屋敷林の整備前】



【屋敷林の整備後】

3. 番外編現場セミナー キャンプ場周辺の森林整備 (4/21・22:土・日) 北広島町(旧芸北町)土橋

県北の山桜が満開である4月21日と22日の2日間、雲月山の麓にあるYMCAキャンプ場周辺の森林整備を行った。伐採技術の豊富な会員など延べ12人の方々に参加いただいた。

昭和58年にキャンプ場として整備され平成元年まで使用されていたがその後、平成28年まで放置されていた施設、一昨年から再整備が計画されている現場である。

今回、YMCAから依頼を受けて大小合わせて15本程度の木の伐採を行った。

目的はキャンプサイトとして整備予定の周辺にスギ、マツなどの太さ40cm程度の大径木があり、日陰をつくるなど施設に支障となる木の処理である。

伐倒経験の有る新会員の住田さん、井本さんにスギなどの大径木を伐倒してもらい、枝払いや玉切りは他の者で行うという段取りで作業を

進めた。伐倒作業は、あらかじめ倒す木が定めてある木の重心を読み安全な伐倒方向を定めた。続いて伐倒木にはロープを掛け、倒す方向に仮止めした。正確な受け口と追い口を切ることが、安全な伐木作業の基本であるため、受け口は伐倒方向に直角に作り、斜め切りと、水平切りの終わり点（折れ曲がり線）を一致させた。深さは、直径の1/4~1/3とした。

追口を伐り始めるときは、周囲に人がいないことを確認し、追口きり開始の合図を行う。立木の動きを確認しながら水平に伐り進み、伐根直径の1/10程度のツルを残して楔を使って伐り倒した。この方法を繰り返し予定の15本の木を安全に伐採した。キャンプ場周辺は、太陽の差し込む広々とした広場となった。

皆さんお疲れさまでした。

（報告者 櫻井充弘）



【正確な受け口を作る井本さん】



【楔を使い追い口を切る住田さん】

4. 番外編現場セミナー 「第22回みどりの集い」に参画して (4/29:日)

広島市東区福田町 広島県緑化センター

若葉が映える中森の魅力に触れるイベント第22回みどりの集いが29日、広島県緑化センターで開催された。県民緑化の集い実行委員会「10団体」が主催。青空の快晴に恵まれ、家族連れなど約4,100人が多彩なイベント（和太鼓演奏・コーラス・クイズや体験ブース・販売ブース・フリーマーケットなど）を楽しんだ。

開会式典では、恒例の「可部南グリーンズ緑の少年団」による元気いっぱいの「緑の宣言」が発表された。さらにこの少年達は、募金箱を携え、場内を募金活動に駆け回っていた。

午前・午後の2回に分けそれぞれ200名にアイスクリームの無料配付には、長蛇の列ができ

ていた。11の体験ブースは、いずれも賑わっていましたが、特に人気を集めていたのは、「カブトムシ幼虫探し」、「親子木工教室」、「はがき作り教室」であった。

さて、当会は、例年、「里山の土産」としてブースを設け、八千代町の炭窯で焼いた炭、シイタケ原木（シイタケが発生しているホダ木）、乾しシイタケ、2日前に木村山で採取したタラの芽・コシアブラの芽などの展示をした。当会への寄付金（18,000円）を頂いた方々には、これらの品を差し上げた。（当会関係参加者：沖田、森川、中元、櫻井、谷川、畝本、福川、横山8人）。（報告者：櫻井充弘）

<事務局からのお知らせ>

- 次の方から会費の納入がありました。（敬称略）

【個人会員】

出本 茂 式部 昭 圓光義光 櫻井充弘 中元明弘 斉藤末男 沢田嘉信 田地洋之

- 次の方から寄付金を頂きました。（敬称略）

松島 博（30,000円）

千堂俊一郎（3,000円）